

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月10日

【評価実施概要】

事業所番号	0170201446		
法人名	有限会社 コンフォール		
事業所名	グループホーム コンフォール		
所在地	札幌市北区新川西3条3丁目12番15号		
	(電話) 011-765-3147		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成20年10月7日	評価確定日	平成20年10月27日

【情報提供票より】 (20年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年 8月 15日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人 非常勤 0人	常勤換算 7.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1～2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費 21,000 円 暖房費(11~3月) 8,000 円
敷金	有()円	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有()円	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	450 円	おやつ 150 円
	または1日当たり 1,300 円		

(4) 利用者の概要(10月7日現在)

利用者人数	9名	男性 4名	女性 5名
要介護1	2名	要介護2	1名
要介護3	3名	要介護4	3名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 82歳	最低 72歳	最高 87歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	札幌病院 長内歯科診療所
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

手稲山の頂を背景にデイサービスを併設する当ホームは、閑静な住宅街に位置しています。1ユニットのグループホームで、きめ細やかなケアサービスを実践したいとの運営者の思いを、職員全員が共有し、利用者と良好な信頼関係の中で、日々の取り組みが行なわれています。デイサービスとの合同行事で交流を図ったり、地域の方々とも馴染みの関係が深まっています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善項目に対しては、積極的な取り組みにより改善が見られましたが、理念の中に地域との関連性の表示がない点、面会簿が一覧表になっている点については、早急に取り組む意向なので、今後の改善に期待します。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員全員で取り組み、前回の外部評価の改善項目を踏まえ新たな気づきや改善点などを把握し、具体策を検討しています。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議は、2ヵ月毎に順調に開催されており、議題も「災害時の連絡等について」「クレームや利用者さんからの意見」「自己評価、外部評価について」など、ケアサービスの質の向上に向けて活発な意見交換がなされており、その中で、家族の要望なども把握でき運営に反映しています。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ホームでの生活状態は、毎月の「お便り」で報告し、一人ひとりの暮らしぶりや健康状態などは、面会時や電話で伝え、さらに金銭出納、写真を郵送しており、家族の安心を得ています。家族からの要望などは改善に向けて取り組み、今後の運営に活かしています。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>今年も町内会側の意向で、町内会へは未加入ですが、町内会行事やホーム主催の行事には相互で参加をしており、災害時には協力を了承していただけるなど、地域の方々との交流も、さらに深まっています。</p>
重点項目④	

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームが「一つの家庭」として地域の中で暮らしていくとの運営者の思いは十分あるものの、理念の中にその表現が記載されていません。	○	今後、ホーム内に掲げている理念や、パンフレットに地域との関連性を盛り込んだ表現を早急に取り込む意向なので、実行を期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、日常の対話、さらに月1回の合同ミーティングで理念を再確認し、日々のケアサービスで実践しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の夏祭りへの参加、またホーム主催の夏祭りには、地域の「よさこいチーム」の来訪があったり、隣近所の方々とも親しく交流を深めています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は、職員全員の話し合いのもとに取り組まれており、自己・外部評価の意義を理解し、改善に向けて具体策を検討しています。		

札幌市北区 グループホーム こんふおーる

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は、2ヵ月毎に順調に開催されており、議題も「災害時の連絡等について」「クレームや利用者さんからの意見」「自己評価・外部評価について」など、ケアサービスの質の向上に向けて活発な意見交換がなされています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者会議などで情報交換を行ったり、相談ごとは電話やメールで指導を受け、ケアサービスの質の向上を図っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームでの生活状態は毎月の「こんふおーる便り」で報告し、一人ひとりの暮らしぶりや健康状態などは、面会時や電話で伝え、さらに金銭出納、写真を郵送しており、家族の安心を得ています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、家族には苦情相談窓口の案内をしています。意見箱も設置し、要望・希望があれば、その都度改善に向けて取り組み、内容も記録し、運営に活かしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員全員が利用者と馴染みの関係にあり、やむを得ず離職が生じた場合は、影響を防ぐため職員全員でフォローし、利用者が不安にならないよう配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部・外部研修は、職員のスキルアップに繋がるため、年間計画を立てて条件が整えば参加できるように促しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ほかの業者とのネットワーク作りは積極的に取り組み、職員は、相互のホーム訪問、食事会などで自己研鑽に励んでいます。今後は、お互いのホームで勤務体験をすることなども考慮しています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者や家族に見学をしていただいたり、管理者が自宅訪問を行なって生活歴を十分に収集しており、その内容を職員全員が共有し、利用者が混乱なくサービスを利用出来るよう配慮されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、一方的なケアサービスではなく、利用者の希望を主体的に取り入れるよう取り組まれています。夜勤時には利用者から労りの言葉掛けがあったりと、信頼関係が築かれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、利用者の生活歴や仕草、表情から真意を汲み取り、思いや意向の把握に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、家族からの要望や、職員からの情報収集、さらに医療関係者の意見も取り入れ介護計画を作成し、職員全員の共有としています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は入居時に作成し、それ以後は、3ヵ月毎の見直しを基本としています。利用者の心身の状態に応じ、柔軟に見直しが行なわれています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の通院介助、買物や理・美容院への付き添い、さらに、年二回の外出、お花見、収穫祭などホームとして出来る限りの支援をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	認知症への深い理解のもと、24時間体制の協力医院の連携により1ヵ月毎の往診を受けており、さらに、利用者の病状に応じた総合病院での検診は、家族が同行しており、適切な健康管理が行なわれています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対する指針を作成し、利用者、家族に説明の上、同意を得ています。利用者、家族の要望に沿い、ホームとして出来る限りの支援を行なっています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	理念の中に謳われている「個人の尊重」を常に認識し、ケアサービスに取り組んでいます。また、個人情報も適切な場所に保管されていますが、面会簿が一覧表になっており、プライバシーへの配慮が望まれます。	○	面会簿の一覧表の取り扱いについては、早急に改善する意向なので、取り組みに期待します。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員が一方向的にケアサービスを行なうのではなく、利用者の目線に立ち言動、仕草から思いを把握し希望に沿った過ごし方を支援しています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を取り入れた献立を作成し、一人ひとりの力量に応じ、職員と一緒に調理の下ごしらえ、食器の片付け、茶碗拭きなどを行なっています。職員は利用者と同じメニューの食事を摂り、話し掛けや食事の介助をしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一週間に2回の入浴日を設けています。利用者の希望により、曜日、時間帯などは柔軟に対応し、入浴を拒む場合は声掛け、誘導などで清潔感が保たれています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の力量に応じ、洗濯物たたみ、花や野菜の水やり、昔の遊びなど五感を刺激する支援を行なっています。また、毎月の行事が、利用者にとって楽しみごとの一つとなっています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の体調や天候に合わせ、職員は、散歩や買物、畑仕事など、日常的な外出支援を行なっています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠をしていますが、センサーによりホームへの出入りを確認しています。夜間は防犯上、施錠しています。		

札幌市北区 グループホーム こんふおーる

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	一年に1回、主に夜間想定で防災訓練をしています。災害時は隣近所の方々や運営推進会議を通し町内会長へ協力を要請し、了承を得ています。今後は、年2回の訓練を取り組む予定をしています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	協力病院の栄養士に指導を受け1600～1800カロリーを基準にバランスの良い食事内容を確保しています。水分量はチェック表にて把握し、食事の摂取量も、職員全員が共有し、栄養管理をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	1階の居間の小上がり仕様の和室には、金魚鉢や観葉植物が置かれ、絵画や行事で撮った楽しそうな写真が壁に貼られ、さらに、2階の談話コーナーには、ソファを置き、観葉植物、絵画などで落ち着いた空間作りに配慮されている中で、くつろいで過ごしています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が違和感がなくホームに溶け込めるよう、使い慣れた家具、調度品を配置し、居心地の良い暮らしになるよう支援をしています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。